

義捐金取次手續

福嶋縣嶺山噴火の罹災者に賑恤救済せんとせらるゝ慈善家の爲め送金の便を圖り本社其取次の努を執るべし其手續は左の如し

一義捐金は一口十錢以上とするべし
一本社に於て義捐金を受取りたる時は義捐の金額義捐者の姓名を時事新報に登録し之を以て受領の證となし別に受取書を差出すべし
一本社へ送金の方法は郵便爲替、金子入書、銀行爲替等送金者の隨意されども郵便爲替なれば府下芝口郵便局宛にし總て東京々橋區南橋町二丁目十二番地時事新報社と受取人と記名する可し但府下の義捐者は必ず現金を添へて本社へ申込みあるを要す
一罹災者中家を失ひ産を破り目下饑饉にさへ差支へたるもの多くして救濟極めて急を要するを以て相當の金額に達し次第隨時之を取纏めて福嶋縣廳に送り救恤配與方と請求すべし
一義捐金受取りの期日は来る八月十日迄とす

時事新報

世界は廣し交通は速なり 在ボーストン某生
里談又臭い物と蓋すと云ふとあり此意味は何分にも此物臭くして鼻持ちぢが出來がたきに依て之を蓋をして其臭氣の外に漏れざる様にす可しとて下女に云ひ付け其物に蓋をするも臭い物は矢張り臭くして到底他人に隠し付けらるゝものあるが故に臭い物に蓋をするは無益なりとのと手短く譬へたるものならん左れば臭い物に蓋をするは誠以て姑息の策なるが故に若しも真に其臭氣を厭ひ其外聞を憚らば其物を捨てるより外に手段ある可しと雖も扱その物を全く捨ると云ふとは容易に出來がたき事にて内君の意見もあり老人の異存も有り又主人の心に決し難き場合ありて一心には其無益を知りながら又一心には之を惜しみ遂之に蓋をして外見を飾らんとするの姑息策に出づるもの多し思ふに人間は理と言ふに強くして之を行ふに弱く理屈と行爲とは常に符合せざるものなり例へば國政の利害の爲めに其國の内訌に苦々しき軋轢を生ずるなどは餘り外聞の宜しからざる次第なるが故に成丈々其事の外に憚れず外人の耳に入らざる様に爲し度きは國民一般の心ならん所謂愛國心など云へる氣風も即ち此人心の體を指さたるものにて誠美なりと雖も又一方より人情世界の有様を通過するに凡る人の蔽ひ隠さんとするものは必ず現はれ易き常にして秘密々々と思ひしものも何時しう世間の知る所となり却て大に失望する事例は古今に珍らしらざるに今日ハ蒸氣電信郵便の世界にして交通のますく劇しき其一例を示さん

吾々は數年來當國に居る者にして故郷よりの來書も稀なれども何か日本に出來事のあるときハ其通信早くも當國に達して事明細に各種の新聞紙に記載しあるが故に在米の日本國人ハ其新聞紙を讀んで始めて事柄を承知する杯の奇蹟少なからず又日本人にして留學の爲め又ハ徵兵選れの爲め又ハ我社會の究屈あると遊けんが爲め様々の目的を以て横濱の對岸 横濱に渡航の便利なるは昔日田舎の書生が東京に留學するよとも容易にして其費用も亦多からず船賃は僅に五十圓日數僅に十五日以て我國を辭して自由の里に遊ぶべきが故に

毎便渡航の費を増して現に桑港には日本人の宿屋もあり料理屋もあり待合所も出來て殆ど一部落を成さんとする程の勢なりと云ふ然るに此渡米人の中には内輪の面白からざる事、外聞の宜しからざる事を外人に通ずるの媒介となる者もありて或ハ演説する者もあらん或ハ新聞を配する者もあらん憚る所も亦く滿腹の意見と吐露して遺す所亦く止めんとして止むべからず防がんとして防くべからざるが故に善となく惡となく我國内に在るごあらゆる事柄は忽ち外國に達し世界の人の口の端に掛るものなりと覺悟せざる可らず或る日本人が米國に於て其地方の新聞紙に我日本の國情を投書したるハ日本人中には之を悦ばずして却齒扼腕そのまゝには捨て置き難しと云ひたるよし傳聞したれども是れは畢竟の狹き話にて右の國情は其美に論なく唯珍らしし死事にさへあれば傳へ又傳へて忽ち當國の新聞紙に上る可し何ぞ必ずしも獨り其投書のみを答るに足らんや臭き物にても芳しき物にても之に蓋するは蓋し今の交通世界に於て人力の能くせざる所のものなり我日本國には新聞紙又は演説に付き取締の條例あり今其得失論は姑く擱き此條例をして十分に行はれしめて置て法に觸るる者なしとするも唯國內に在る然るのみ一輩水を隔てて海外の始末は如何す可きや況んや内に靜ある者は却て外々騒じさる事例さへあるに於てをや例へば多年來公私學校の様子を見るに規則の嚴密なる學校の生徒は其校内に在てのみ品行方正なるに似たれども一歩を校外に踏出して規則の綱を脱するときは其亂暴醜態見るに忍びざるもの多し之に反して學校の風俗窮乏ならず都て規則を依順せずして生徒の品行を其自尊自重心に任ずるときは學校内外の別を以て行狀の醜美を殊にする可くなく儼然として自から紳士學者の品格を失はざる者多し亦以て人心の 働の一環を窺ふに足る可し吾々は久しく當國に在留して近來ますます日本人の増加するを目撃し交通世界の劇變を感ずると共に一片の愛國心は故郷を忘る能はず本國に在る上流の長者をして少しく其眼界を廣くせしめんことを冀望して遂に一言を呈するのみ

官報

○罹災者賑恤 嶺山噴火に付き罹災者へ元老院議長副議長及各議員より賑恤金惠與ありたり(福嶋縣)
○京城居留日本人口 去る六月調京城居留本邦人の數は合計二百四十二人(内男百四十六人、女九十六人)にして戸數は七十戸なり(外務省)
○奴隸禁止令 近頃伯刺西爾國會に於て可決せし奴隸禁止令の本文は左の如し
第一條 本令實施ノ日ヨリ伯刺西爾國ニ於ケル奴隸民ハ總テ自由民ト身做ス事
第二條 奴隸ニ沈メル婦女ノ産出セリ子女チテ其養主ニ對シテ養育スヘキ將來ノ義務ヲ免脱セシムル事
第三條 本令ニ基キ解放セラレタル奴隸民ニ對シテ今ヨリ二年間其解放時現住ノ州内ニ在任スヘキ官チ告達スル事
第四條 本令ノ實行上事ノ詳情ニ由リ必要ト認ムル規則設定ノ件ハ總テ之ヲ行政官ニ委ヌル事
第五條 本令ノ意義ニ背反スル從前ノ法令ハ總テ無効ノ事
但し本令の發布に由りて新に自由權を與へられたる者のみにて其數六十萬人なり其他奴隸に沈める婦女の産出せし子女に對し其年齡二十一歳に達するまでは自由を與ふること一定せしは千八百七十一年中此事なり然るに今回の發令に由り終世の自由を得るに至りたる奴子女の數は四十萬人許なりとす(本年六月十三日露

のあり併しながら
○小田原の水輪餘金
○公買成分、官民
○郡長中嶋精一
○中田村聯合會
○新築費として徴
○何れも該新築を以て原案を否決
○職員を招集して二
○多額として人民之
○市町村制の實施

國兵事新聞)
○ウオールスレー卿の持論 遼東より英國を防の不完全と咎めて止まざるウオールスレー卿は武門の家に生れ武人の教育を受けた人として未だ幼稚園を出でざる頃より武官たらんと欲するの心あり官に補せられは編制の競争に勇進して負傷せしを始めてシクリミヤ戦争もも重傷を蒙りし事あり其他幾多の戦場に臨み無数の難難を嘗め來つて今は天賦の才能に加ふるに經驗と云ひ熱誠と云ひ天賦の上將軍英國第一との名は疾くより同國軍人社會を喧しと云へり、過日の紙上ハ揭載せし若年にして大政治家の開えあるランドルフ・チャーチル卿が英國の政略に付て善なる所説ハ成るべく露國と約束を結び同國をして中央亞細亞に於て英國と對する敵愾の舉動を止めしむべし是れ英國の最も重要とする所なり此希望を果さんか爲先は英國は素より露國に與ふる所なくんばあるべからず左れば東歐事件ハ關して暫く嘴を出す可くなく露國の爲すは儘に放任し以て中央亞細亞の手を引しむべし支佛國が英國を襲ふの恐ありとの論は取に足らず佛國には後ろよ獨逸の勁敵あり隙に乘じて侵入せんぞ窺ひ居るが故よ之を恐れて英國に向つては決して攻寄するの憂あるべからずと云ふにわれどもウオールスレー卿の説は全く相反する所あり其說如何と尋ねるに英國は早晩露佛二國と開戦を免るゝ能はざるものなり就ては目下獨、奧、伊三國の間ハ戰時相救ふの同盟あるこそ幸なれ英國も其仲間入して若し三國が攻撃さるゝ事ある時は英國も之と救ひ英國が敵を受くる時は三國より援助するの約を結び置くべし露國は世界の平和を破らんとするものなるが故に隙を伺ふて侵入を企つるに決して時と所と撰ぶことあるべからず左れば印度の境上に於て昨今の如く只だ侵略の勢を示すのみにして實際境を越ゆることなくんば同地の守兵は現在數より二萬人位を引去りて尙は且憂なかるべしと雖も之に反して境に迫るの勢只に盧喝のみにあらざる時は西北境の現在守兵に十萬人を増さざるべからず而して露國が敵愾の色を示す間は佛國も亦空慮を脱ふの心と止むべからず思ふに英國は遠らぬ内外國の侵襲を受くることあるべし何故に侵襲を受くるか何れの國より侵襲さるゝかと問ふに佛國は今や既ハ持前の癡狂を顯はさんとするの時期に達せり暫く不満足の内日時を經過して業々既に無事よ苦めり遠からずして例の如く其國民は總て英雄一人の下に伏し其指揮を仰ぎ其國使に從ふに至るべし今日の佛國には他も其人なきが故に此最上位に昇りて崇拜さるゝものは蓋し武將軍ならんか而して佛國人民が武將軍を推して最上位に濟り癡狂心再發の頂上に達する時は外國又向つて置を開くは勿論なり其時第一番に念慮を注ぐ所は獨逸あれども獨逸は兵備充實して容易に近くべからずアルカスローレー州を奪はせて其怨讎止難しと雖も勝利の得易からざるを察して止むを得ず思ひ止まるならんかれども外に向つて屈を展さんとするの矢張り心は底止するに由りければ四方に向つて物色し忍ら英國と對せんとするの心を起し來つて倫敦の空慮を衝死三色の旗と街頭を騒がすに至らん倫敦若し敵の手に入らば大英の全國最早我にあらざるなり人或は異説して佛國が英國を攻むる時は獨逸共處も乘じて佛國に侵襲し以て其用を撃くことあるべしと云ふも

のあり併しながら
○小田原の水輪餘金
○公買成分、官民
○郡長中嶋精一
○中田村聯合會
○新築費として徴
○何れも該新築を以て原案を否決
○職員を招集して二
○多額として人民之
○市町村制の實施